



中部圏水素・アンモニア 社会実装推進会議 基本合意書締結式

2024年11月18日



■ 趣旨

本推進会議では、日本一のモノづくり産業が集積する中部圏において、引き続き我が国の経済成長を牽引するために、水素及びアンモニアのサプライチェーンの構築に向けた取組を推進しているところ。

本年10月に施行された水素社会推進法を踏まえ、本推進会議は会員企業と一丸となり、より強力にサプライチェーン構築を推進し、本取組を広く内外へ知らしめることを目的に、相互協力を図る基本合意書を締結する。



包括連携協定締結式
(2022年2月21日)



JERA碧南火力発電所視察
(2022年12月16日)



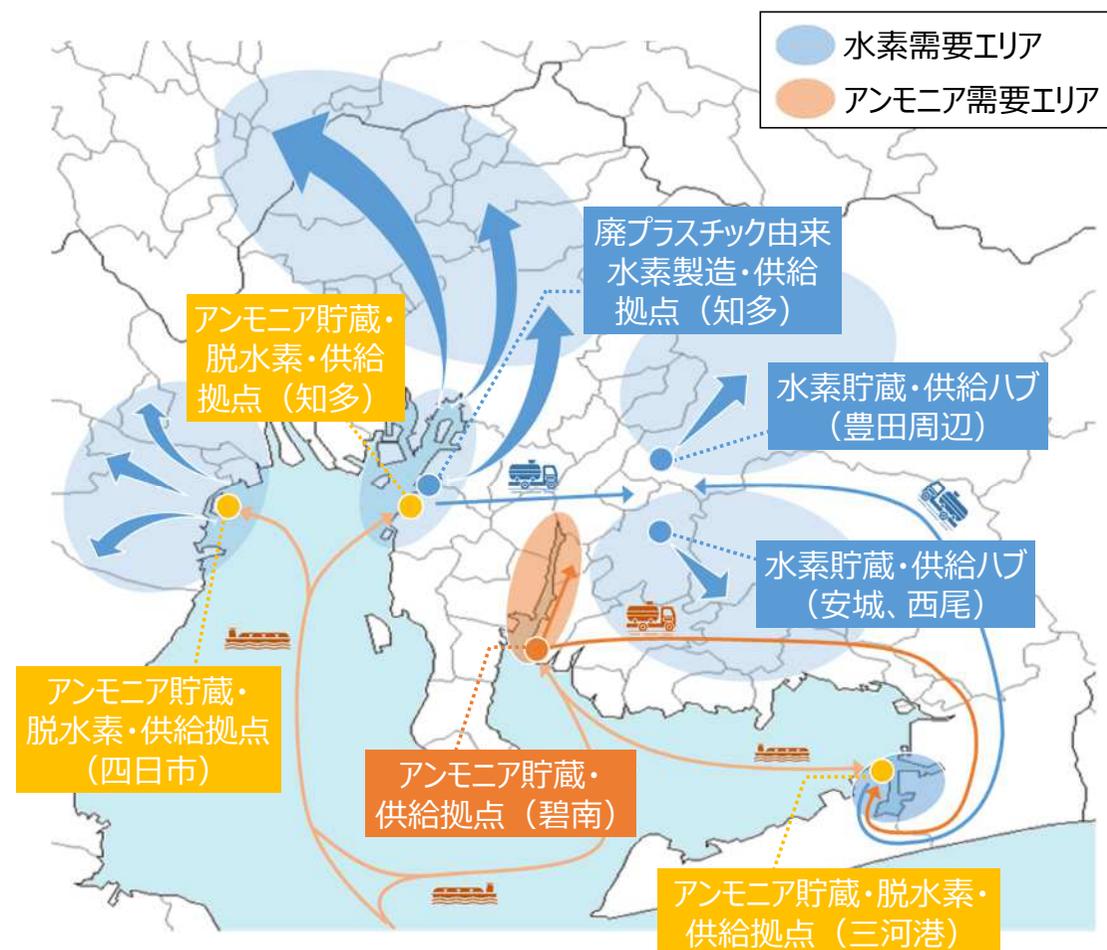
第5回推進会議
(2024年7月1日)

■ 合意内容

2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、中部圏における水素やアンモニア等のサプライチェーン構築に向けて、次のとおり相互協力することに合意する。

- 1 水素やアンモニア等の需要や供給に関して積極的に推進することに努める。
- 2 水素やアンモニア等の需要や供給の調査に協力することに努める。
- 3 水素やアンモニア等のサプライチェーン構築の実現に努める。

2050年カーボンニュートラルの実現を目指す 中部圏の水素・アンモニアサプライチェーン計画



■ 今後の活動

▶ 水素社会推進法に基づき、事業開始2030年を目指す案件については、本推進会議として各企業等と連携・協力し、計画認定及び支援制度獲得を目指す。

▶ 一方、2030年以降の本格的な需要の拡大を見据え、より一層大規模なサプライチェーンの構築が必要である。

本推進会議としては、引き続き各企業等と協力し合いながら推進を図るとともに、国に対して新たな支援制度の創設等を働きかけていく。



■ 国への要請（案）

日本一のモノづくり産業が集積する中部圏が、我が国の経済成長を牽引し続け、2050年カーボンニュートラルを実現するために、次の事項について特段の措置を講じられるよう要請する。

1. 世界に先駆けて、水素やアンモニアのサプライチェーンを構築するために、水素社会推進法に基づき、燃料価格差支援や拠点整備など、十分な支援を行うこと。
2. 2030年以降の水素やアンモニアの本格的な需要（製鉄所、発電所、工場、モビリティなど）の拡大に応えるサプライチェーンを構築するために、用地やインフラの整備など、十分な支援を行うこと。